

きょうめんはんしゃ

# 鏡面反射

## ■ 用語解説 ■

鏡などによる完全な光(或いはその他の波動)の反射であり、一方向からの光が別の方向に反射されて出て行くこと。試料の表面や膜界面の解析に中性子反射率法が用いられる。中性子の入射角は、0.1~6度の浅い入射角で、これに対応した同角の浅い反射角をもった反射光が得られる。これを鏡面反射角と呼ぶ。すべての低角度で反射が得られるわけではなくある低角度より反射が認められ始める。この鏡面反射の起る確率(鏡面反射率)は、試料の表面や界面構造の解析に重要な情報となる。